

(医) 愛誠会に対し、 「DBJ ビジヨナリーホスピタル」に基づく融資を実施

－高度な医療機能の提供と防災及び事業継続への取り組みを評価－

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、医療法人愛誠会（理事長：徳留稔、以下「当法人」という。）に対し、「DBJ ビジヨナリーホスピタル」に基づく融資を実施しました。

「DBJ ビジヨナリーホスピタル」は、公益財団法人日本医療機能評価機構（所在地：東京都千代田区、理事長：河北博文、以下「JQ」という。）による「病院機能評価」の認定(注)を受けた病院を対象に、DBJが開発した独自の環境評価・BCM評価システムにより、環境配慮、または防災及び事業継続対策に優れた病院を「DBJ ビジヨナリーホスピタル」として評価・認定するという、JQの「病院機能評価」とDBJの「環境格付」「BCM格付」の専門手法を組み合わせた世界で初めての融資メニューです。

当法人は、「私達は患者様に安心していただき、自らも受けたい、家族にも受けさせたい医療を追求します」を理念とし、1946年に鹿児島県曾於市に創設された昭南病院を中核に医療・介護事業を展開しており、高齢化が進む曾於地域の医療を長きに渡り支え、医療機関として有事の備えを進めています。

今回の評価では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 設備・機器類の固定化の徹底や災害時優先電話の確保のほか、定期的な災害対策本部立ち上げ訓練や網羅的な防災訓練により、ハードとソフトの両面から生命安全確保に努めている点
- (2) 有事においても医療継続を実現すべく、従前より各サプライチェーン事業者とのリスク情報の共有やサイバー攻撃等の備えに加え、各部署等における重要業務の再整理を行い事業継続計画の策定を進めている点

その結果、当法人は「防災及び事業継続への取り組みが十分」というBCM格付を取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、地域社会に良質な医療の持続的な提供を行うお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注) JQは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを中立的、専門的な見地等から評価を行う「病院機能評価事業」を行い、評価の結果、一定の水準に達したと認められた病院に対し認定書を発行しています。2023年3月時点で全国の病院の約25%の病院が認定を受けています。

【お問い合わせ先】

南九州支店 電話番号 099-226-2666